



鳥羽市は「多様な社会を生き抜く、知性・感性・理性にあふれた健康な市民の育成」を目標としています。

# とばし教育委員会 だより

2022.9.1 第24号



## 鳥羽東中学校フェンシング部始動！

令和4年4月から鳥羽東中学校にフェンシング部が誕生しました。

経験者3名・初心者6名が入部し、7月には初心者にとって初めての大会にも出場しました。部員9名が切磋琢磨しながら日々練習に励んでいます！

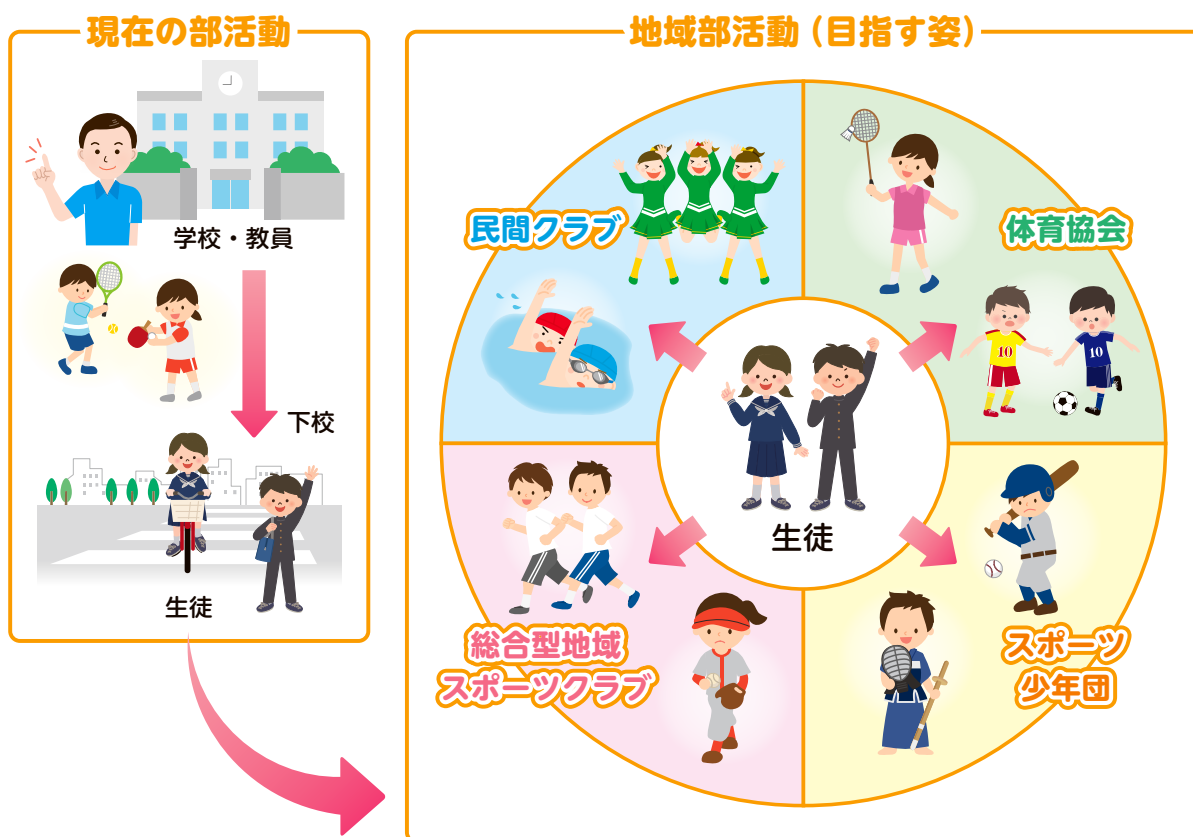
# 部活動の環境づくり

## ～ 休日の部活動の地域移行について ～

鳥羽市では、文部科学省によって示された方針に沿って、休日の部活動を段階的に地域へ移行する「地域部活動」の実施に向けて準備を進めています。

### ① 部活動の地域移行とは？

部活動を学校の先生方が指導・運営を行う形式から、地域や保護者の方を中心に活動するスポーツ少年団や体育協会、クラブマネージャーが活動をコーディネートする総合型地域スポーツクラブなどが指導・運営する形式にしていくことです。



※イラストはイメージです。

### ② なぜ地域へ移行するのか？

- 生徒が専門的な指導が受けられるようになります。
- 平日の部活動と異なる活動へも参加できるようになります。
- 活動に参加しないこともできます。
- 教員の長時間勤務を緩和し、働き方改革を通じた学校教育の質の向上を図ります。

前回に続いて特別編。鳥羽東中学校教諭で、今年創設されたフェンシング部の顧問であり、自身も選手として活躍されている田崎里花子さんと、小竹教育長との対談です。さあどうぞ！



たさき りかこ  
田崎 里花子さん

鳥羽東中学校教諭(体育)。秋田県北秋田市出身。大学4年の時、フェンシングU-23アジア選手権大会に日本代表として出場。鳥羽東中学校に今年創設されたフェンシング部の顧問として、日々子どもたちの指導にあたっている。



こたけ たくし  
小竹 篤

鳥羽市教育長。昭和53年に弘道小学校教員に採用され、これまでに教育委員会学校教育課長、鳥羽小学校校長、鳥羽東中学校校長などを歴任し、平成29年7月に教育長に就任。学生時代は、中・高・大をとおして野球部員として活動。

対談

## 部活動としてのフェンシングをとおして

**教育長** 先生のふるさととはどんなところですか。

**田崎** 私が生まれ育ったのは、秋田県北秋田市で、山と川に囲まれた15世帯程度の地区でした。鳥羽に来て3年目になります。海が近くにあることは今でも新鮮な環境です。

**教育長** フェンシングをするようになったきっかけは。

**田崎** 小学校と中学校の頃は陸上とクロスカントリースキーに力を入れてい

ましたが、高校ではフェンシングや剣道など、やったことのないスポーツをやるうと考えました。かつこよかつたの自分がかかっている未来が想像できたのでフェンシングを選びました。フェンシングは初心者で、ルールも複雑でよくわからずにやっています。種目はサーブルを選び、高校3年生の時に県予選を突破しインターハイに出場できたことが、大学でも続けられた要因でした。

**教育長** 大学に進学する時点ですでに体育教諭を目指していたのですか。

**田崎** そうです。両親からも応援されて教職の資格が取れる大学に進学してフェンシングを続けていました。

**教育長** 大学4年の時にはキャプテンをされていたそうですね。しっかりされていたのですか。

**田崎** しっかり者の役は別にいたので、私は皆に声掛けをしてまとめる役割のキャプテンでした。部員は20名程度でした。

**教育長** 三重県の教員に採用されるきっかけは。

**田崎** 三重とわか国体を控えた三重県が、フェンシングをやっていて、かつ教員になりたい人材を探していて、声をかけていただいたのがきっかけでした。大学3年の時でした。

**教育長** 教員生活は順調ですか。

**田崎** はい。教員になり3年目ですが、今年、初めて担任を持たせていただきました。担任になると副担任とはまた違った見え方があり、充実感と共に教員の奥深さを知りました。

**教育長** 先生自身の選手としての今後の活動予定は。

**田崎** 今は子どもたちの指導に専念していますが、来年の国体には選手として出場する予定です。

**教育長** 今年度から鳥羽東中学校にフェンシング部が創設され、初心者の入部もあつたと聞いていますが、どのような練習をしていますか。

**田崎** 現在、部員は9名で、そのうち6名が初心者です。経験者が一緒に教えるながらフルレの練習をしたり、鳥羽高校のフェンシング部と合同で練習をしたりしています。センスのある子どもが多々いますので、今後が楽しみです。  
**教育長** フェンシングに取り組み子どもたちの様子はどうですか。

**田崎** 経験者の子たちは、自主的に県外の大会にもたくさん出場しています。そこで手ごたえを感じている子どももいれば、緊張感の中で力が入りすぎて

思うような試合ができずに悔しがっている子どももいますが、皆大会から帰ってくる生き生きとしていて充実している様子が伺えます。7月31日には初心者の子たちも津市で行われた大会に初めて出場しました。対戦相手からなんとか1点取れたり、勝てたりして、すごく楽しかったと言っていました。初心者の子たちも機会があればどんな大会に出てほしいと思っています。

**教育長** 先生からみたフェンシング部の目標はありますか。

**田崎** 大会で上位を取るのが目標ではなく、生徒同士がお互いにアドバイスをし合えるチーム作りをしていきたいです。フェンシングを深く知るほど、技の組み合わせや戦略などで頭を使うようになり、自分ひとりだけでは難しくなる時があります。その時に互いにアドバイスや相談ができる環境が理想です。そこまでフェンシングを楽しんでもらえたら、フェンシングに良いイメージをもつまま中学を卒業し、その先へ繋がっていくのではと思っています。

**教育長** 自ら考える力を身に付けることは、それからの生活にも生かすことのできる良い目標ですね。中学の3年間だけでそれを教えるのは難しいことですが、先生のような熱意があればきっと伝わると思います。鳥羽の子どもたちをよろしくお願います。本日は、ありがとうございました。

**田崎** ありがとうございます。



## 海洋教育の推進 ～4拠点との連携～

鳥羽市教育委員会では、令和3年度に市水産研究所、三重大学水産実験所、海の博物館、鳥羽水族館の4拠点の担当者、小中学校代表者、教育委員会とで海洋教育準備委員会を設置し、海洋教育カリキュラムを作成し、子どもたちへの海洋教育学習を進めています。

準備されたさまざまな海洋教育に関するプログラムやコンテンツの中から、各校が興味のあるものをピックアップすることで、海洋のプロから直接出前授業や海洋演習などの講座を受けることができる仕組みです。



6月30日には、安楽島小学校において、鳥羽水族館学芸員杉本幹氏による海洋教育出前授業が実施されました。

授業では、安楽島小学校5年生34名が、『命の誕生』をテーマに鳥羽水族館で生まれたスナメリの誕生の瞬間や成長の様子などを映像で見ながら、生き物の誕生について学びました。また、クイズ形式によるアオリイカやオウムガイの卵の紹介など、児童たちは興味を持って学習に取り組んでいました。

海洋教育カリキュラムの

詳細はこちらをご覧ください。



## 遊びをとおして、豊かな学びと成長を

かもめ幼稚園では、園児たちが豊かな自然に囲まれた園庭でたくさん楽しい遊具を使って、毎日元気に心身を動かして遊んでいます。子どもたちにとって、遊びこそが学びです。また、園バスに乗り市内のあちこちに園外保育に出かけては実体験や遊びを行い、さまざまな経験をとおして子どもたちは成長していきます。

幼稚園では「つながり愛と育ち愛」を今年のテーマとして、遊びや体験、地域の方とのふれあいを大切に行っています。

毎週月曜日と水曜日の午前中は園庭や絵本の部屋の開放も行っていますので、お気軽に遊びに来てください。自然の中で心豊かに遊んで学べるかもめ幼稚園で一緒に遊びましょう！

令和5年度の園児募集については、広報とは令和4年10月号でお知らせします。

詳しくはかもめ幼稚園（☎0599-255-2924）までお問い合わせください。



かもめ幼稚園

ご意見ご要望をお寄せ下さい